

北海道議会議員
Go forward 北海道
たけだ浩光 道政通信
ひろみつ
所属会派：民主・道民連合
住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします！
発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



総務委員会 副委員長就任！ 2023年 第1回臨時会 (5/11~5/17)

4月に実施された統一自治体選挙後に招集される第1回臨時会が、5/11~5/17の日程で開催され、議長、副議長、各委員会の所属や物価高騰対策としての補正予算追加提案など可決し終了しました。

<価格高騰等経済対策…233.0億円>

1. エネルギー・原材料・食料等安定供給対策：88.6億円
2. 厳しい経営環境にある中小企業等への支援：87.7億円
3. 物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援：56.7億円

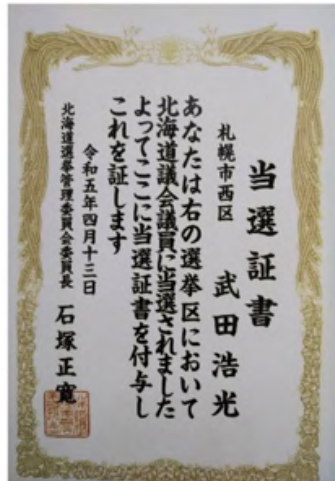


後ろから3列目通路横手前に着席する武田道議

知事は、対策や支援策を、市町村をはじめ全ての道民に届くよう丁寧に説明し、周知が徹底されてこそその効果を発揮できることを強く認識し、しっかりとした周知方法を実施するべきと考えます。道民に届かない対策は対策とは言えません。

<その他決定事項> *たけだ浩光、二期目所属委員会*

* 常任委員会	総務委員会（副委員長）
* 特別委員会	人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会
~~~~~	
☆ 道議会議長	富原 亮（自民党・道民会議）
☆ 道議会副議長	稲村 久雄（民主・道民連合）



二期目となりました

## 速くなりました！ 2023年 第1回定例会報告

2/17開催の第1回定例会は、この後の知事・道議の改選（選挙）があるため、道政運営の基本となる経費を中心とした、いわゆる「骨格予算」として編成されます。今回、その他令和4年度補正予算として「物価高騰等対策特別支援事業」（いわゆる、子育て世帯への8,000円相当おこめ券・牛乳贈答券など）が議会冒頭に先議され、緊急経済対策として可決されました。

しかし、問題はこの財源となった事業あり方です。財源には、第3回定例会で提案済みで、道全体の5%以下にしか支援が行き届かなかった「節電プログラム参加促進事業」（聞いたことありますか？）から出た、9割近い執行残額31億円を充てるということです。申請方式で、節電プログラムに登録・参加することにより国から2,000円、道から2,000円分補助されるというものですが、周知度も悪く、事業価値のない大失敗事業と言えるでしょう。しかも、お米券等は緊急と言いつつ支給時期は5月以降であり、もっと早期に公平に子育て世代に負担のかかる経費などの減免支援もあったのではないのでしょうか。選挙を意識したバラマキと思われても致し方ないのでは？とってしまうのは私だけではないはず…



正・副議長投票

### シリーズ企画第3弾 ⑥

# 放射線 放射線の農業利用

私たちは どれだけの知識を知ってる？

さて、今回紹介するのは放射線の農業利用です。たくさんの利用実績がありますが、ここでは「品種改良」「害虫駆除」「食品照射」の3つを紹介します。



ガンマフィールド  
国立研究開発法人農業生物資源研究所HPより

## 品種改良

茨城県常陸大宮地区の放射線育種場には、国内唯一のガンマフィールドがあります。自然の突然変異は起きる確率が低く、手に入れることは非常に困難です。そこで、放射線により誘発された突然変異を利用した作物の品種改良及びその効率的誘発のための基礎研究が行われています。品種改良は、放射線を当てることによって病気に強い新品種や寒冷地に適した品種（変種）を得たり、意図的に突然変異を起こさせ品種を作る技術です。ナシの黒斑病抵抗性品種が育成されたほか、イネやオオムギ等の耐倒伏性・多収穫・病害虫抵抗性の改良が進められています。病害虫による抵抗性の改良が進められると、農業はほとんど不要になり、環境汚染も著しく減少させることが可能となります。



じゃがいもの照射室  
公益財団法人環境科学技術研究所HPより

### たけだ浩光プロフィール

- 【すまい】 西区西野（在50年）
- 1960年 江別市生まれ
- その後、すぐ札幌へ
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属 診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選
- 2023年 2期目当選

## 食品照射

現在日本で照射が許可されている食品は、じゃがいものみです。研究の結果、ガンマ線を70グレイ照射すると、収穫後8ヶ月の室温貯蔵で発芽を防止することがわかりました。1972年にじゃがいもの照射が許可され、1974年から北海道の土幌町農業協同組合が、発芽防止の目的でじゃがいもの照射を開始しました。

## 害虫駆除

害虫駆除に放射線が使われたこともあります。メスの蛹に放射線をあてて、子どもが生まれぬ卵しか産めないメスを放すことで数を減らしていき、最終的には根絶させるという方法です。実際に、本土復帰した沖縄で東南アジアから上陸した「ウリミバエ」という害虫を本土上陸させないために用いられました。この事例については、NHKの「プロジェクトX」でも取り上げられ、本にもなっています。興味のある方は探してみてください…

いかがでしょうか？放射線の工業利用や農業利用についてご存知でしたでしょうか。放射線が持つ「ポテンシャル」と「リスク」という二面性を学習しながら、人類はあえて放射線を利用するという道を選択しました。次回はいよいよ医学利用についてです。

次号に続く…

たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光 検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧いただけます